



CASA DEL ARTE アカデミー開校!

去る10月22日(月)、フラメンコ舞踊を志す人々の総合的な技術力向上を図る、財団主催のアカデミーが開校しました。今後も、定期的開催していく予定ですので、是非、ご期待ください!

●多彩なプログラムを備えたアカデミー

財団では、この度、東京スタジオ“CASA DEL ARTE”の完成を機に、念願だった本格的なフラメンコ・アカデミーを開校しました。

第一回目の今回は、マントンやアバニコといった小物づかいにも長け、女性らしいエレガントな踊りには定評のある名舞踊家、マリア・デル・マル・ベルランガ氏と、振付コンクールで3年連続優勝を果たし、若きクリエイターとして世界各国で活躍する精鋭舞踊家、クリスティアン・ベレス氏の2名を招聘し、フラメンコの真髄と現代フラメンコの新しい息吹を同時に学べるプログラムといたしました。

また、心の想いを身体で表現する能力を培うため、日本演劇界の重鎮、入江洋佑氏を招いての「演技指導」、フラメンコの歴史やカンテやリズムについて学べる「フラメンコ今と昔」(講師カルロス・ベルランガ氏)といった無料講座も同時開講し、舞台上立つプロのアーティストとして必要な技術と知識を総合的に学べる、多彩なプログラムを用意しました。

中でも、入江洋佑氏による「演技指導」の講座は、詩の朗読や声の出し方、パントマイム等を通じて、自己を開放すること、舞台上で内面の感情を客席に効果的に伝える技術等、普段、フラメンコに携わる人々にとってはなかなか接することのない内容だったこともあり、皆さん入江先生



マリア・デル・マル・ベルランガ氏によるカーニャの振付けレッスン。

のお話しに食い入るように耳を傾け、集中してレッスンに取り組んでいらっしゃいました。

一方、マリア・デル・マル・ベルランガ氏には、マントンやバタ・デ・コーラ、アバニコ等を用いた振付け指導、クリスティアン・ベレス氏には、パリージョを使つてのクラシコ・エスパニョールを中心に指導していただきました。

まったく性格の異なる内容ではありましたが、どちらも一般的なフラメンコ・レッスンではなかなか習得できない基礎力や、踊る上で必要な技術力向上に役立つ内容だったと思います。原則としてプロを対象としていたこともあり、レベルも高度でしたが、レッスン終了後に互いにわからないところを教え合うなど、大変研ぎ澄まされた雰囲気での進行となりました。

講座途中からは、マリア・デル・マル・ベルランガ氏のご厚意により、初・中級者向けのクラスが追加開講される等、充実した内容の講座になったと自負しています。

●スタジオ利用も募集中

前号でもお知らせしましたが、フラメンコ・スタジオ“CASA DEL ARTE”は、一般の方の利用が可能です。音響・照明設備も完備しており、スタジオ・コンサート、リハーサルの他、定期貸しによるクラス・レッスン等にもご利用できます。ご興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。



開講を祝して行われた懇親会では、講師陣らによるパフォーマンスも披露された。

フラメンコ・ワークショップ in 名古屋 報告

去る7月31日(火)～8月5日(日)、名古屋のMARUWAスタジオにて、ファン・オガジャ氏による夏のワークショップが開催されました。

今回はかなり早めの時期の開催となってしまったため、参加者は各クラス10名ほどと、例年よりも少なめでしたが、毎回東京から参加してくれる人もいろいろと、リピーターの方が非常に多く、大変アットホームな雰囲気の中での開催となりました。

終了後、参加者の方々から「来年も絶対に開催して欲しい」という強い要望をいただきましたが、開催の時期や日程等を考慮した上で、来年度以降も継続していく予定ですので、どうぞご安心ください！今回、残念ながら参加できなかった皆さんも、是非、次回にご期待いただければと思います。



名古屋会場の昼クラスの面々。レッスン終了後、オガジャ氏を囲んではい、ポーズ！

スペイン研修報告

第6回 CAF フラメンコ・コンクールで奨励賞を受賞した大塚歩さんより、スペイン研修レポートが届きました。なお、大塚さんは、その後クリスティーナ・ヘレン財団からの奨学金を得て、引き続き現地で研鑽中とのことです。



大塚 歩

今回の9か月間のクリスティーナ・ヘレンでの勉強は、如何に自分が何も出来ないのかを知るきっかけとなりました。そのために、セビージャ滞在中には、気持ちが後ろ向きになることもありましたし、今までと違うことに意識を持って行かれてしまい、丁寧にやりたいはずのことが、雑になってしまったり、ということも多くありました。

今は、悩みながら、考えながらではありますが、自分らしさを失わず、今の自分が出ることを、やはりひとつずつ丁寧にやっていくことが、私にとっては大事なことであるのかな、と思っています。そしてその自分らしさとは、「誰かが教えてくれたから」という曖昧な意識ではなく、「自分がそうしたいから、そう思うから」という意志をもってひとつひとつの選択をしていく中に存在しているように思います。テクニカはその中で自分をたすけてくれる、大切なもので、特に基本的なもののほど丁寧に、怠ることなくやらなければならないと感じています。誰の目にも見えるような変化ではありませんが、これから自分がまた学んでいくために必要な気付きがあったように感じています。

平成23年度・24年度 助成作品 報告

平成23年度及び平成24年度の助成作品を上演された方々より、公演のご感想をいただきました。

Reminiscencia de Cai ～追憶～

中田 佳代子

この度は Reminiscencia de Cai ～追憶～に対する MARUWA 財団のご助成、そして助成期間延長の承諾を頂き無事7月に盛岡、東京、大阪での3公演を終了することができましたことを、深く感謝申し上げます。

今回の公演は「日本を元気に！」をテーマに、演出・構成を考えました。

地元岩手だけでなく、東京や大阪で公演を見に来てくださった方々に元氣とパワーを与えられるようなそんな作品作りを目指し、今回参加して下さったカディスと日本のアーティストの皆さんや周りの方々のお力添えを頂戴し、全力投球で全国を走り抜けました。

現在スペインと日本を行き来している私にとって、自分のルーツ、日本人としてのアイデンティティを求め自己表現することは自分にとって永遠のテーマでした。

そして今回地元の岩手民謡で踊るということに辿りつきましたが、本音を言うとは斬新すぎて失敗を恐れる自分がありました。しかし実際舞台上で素晴らしい福田こうへいさんの歌にDNA反応して踊る自分が、普段カンテと踊る時の自分と重なった異次元体験をし、結果どうであれ恐れずにやってみることは、表現者として最も大事な事だと学ばせていただきました。

そして、アーティストやテクニカスの皆様、公演マネージャの皆様、スペインと日本の家族、そしてご支援、ご協力をいただいた皆さんの皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも精進してゆきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



(撮影者：Lucas Vallecillos)

i ス페인! ギターと絵画の交わるころ in Tokyo part 2 「バルセロナ・コネクション」 益田 正洋

クラシックギター演奏家として、少しでも多くの方々にスペインの魅力やギターの素晴らしさを知っていただきたいと願って活動しています。そういった気持ちから始めた、「ギターと絵画の交わるころ」と題したコンサート。美術史家の川瀬佑介さんとこの演奏会をご一緒して今回で7回目でした。共通項の多い音楽と美術が同時に楽しめる企画として、普段コンサート会場に足を運びづらい方々に、少しでも親しみ易さ、そして楽しさを感じていただけるような会を催したいという気持ちがきっかけでした。絵画のお話とギター演奏が両立するように（つまり無くてはならない関係として）毎回試行錯誤を繰り返していますが、今回は特に「音楽も、そしてお話も盛りだくさんで、すごく楽しめました」、「絵画のお話で頭の中に広がったイメージが、ギター演奏でより深く沁みわたる感じでした」という感想が多かったのは、これまでの試行錯誤が充実した公演内容につながったのかな、と自負しています。これからも、様々な側面からスペインのこと、そしてギターや音楽、美術のことを中心にさまざまな方々に興味を持っていただけるような企画を考えたいと思います。今回の公演を聞き逃したという方、次回は是非お聴きくださると嬉しいです。



(撮影者：Y. Tamaki)



(撮影者：あおき ひなこ)

「裸の女たち」

らす・しゃちほこす

タイトル「裸の女たち」には、深い想いが込められています。フラメンコ。それはすべてをさらけ出すことであり、「裸」のようなもの。裸同然の気持ちで表現する為に、1年半かけて追及してきました。2010年3月に第1回の公演を行って以来、2年半ぶりの舞台。前回より会場も大きく、メンバーも増え、より大掛かりなものとなりました。

私たち「らす・しゃちほこす」は、名古屋をこよなく愛し、地元で活動する踊り手集団ですが、5人それぞれが教室を主宰している為、全員揃っての練習時間を確保するのは本当に大変でした。群舞、それぞれの個性&世界観を映し出すソロ、そして「らす・しゃちほこす」恒例の「お笑いフラメンコ」。「お笑い」と言えども、それを単なるおふざけで終わらせることのないよう、曲の流れ、照明・効果音・それぞれが動くタイミングなど、事細かな練習を重ねました。5人でアイデアを出し合い、時にぶつかり合いながら、最終的には5人で5倍と言うより、10倍20倍もの力となって、初めてフラメンコを観る方からフラメンコ通の方まで、色々な層の方々に楽しんでいただける舞台を作り上げることができたと自負しています。

これからも横の繋がりを大切にしながら、名古屋のフラメンコを盛り上げる一因となるよう努力していきたいと思えます。この度は助成作品に選んで頂き、ご支援くださり、誠に有り難うございました。

「第二回 東北フラメンコフェスティバル in 福島」

NS フラメンコ企画

私たちは東日本大震災以降、何を考え・何を行い・何と向き合ってきたでしょうか？未だ除染活動等を行っている福島を訪れ幾多の状況を目の当たりにし、当初予定していた内容を変更して復興に向けた支援活動を福島県で行うという決断をしました。震災後も様々な環境下でレッスンを続けている東北のクラス生と指導者達。今回のフェスティバルは、出演者を通して福島を応援する気持ちを胸に、2009年発足当初定めた6県巡回公演の一つとして行うことも含め、3県10クラス・総勢82名で行いました。

参加者の中には「これでようやく前に進めます」といった方もおり、どれだけ大変な日々を過ごしてきたか窺い知りました。またフェスティバル前日には、被災者へ向けた復興応援事業として「気持ち一つで出来ること、フラメンコで出来ること」を主題に、東京の有志プロ舞踊家9名と共に公演とチャリティバザーを行い、その全収益を福島県の子供たちへ義援金として納付しました。出演者・お客様、双方の観点で異なる公演を2日間行いましたが、800名を越す温かいお客さまのお陰で最高の舞台となり、両日を通してとても意義ある福島公演だったと確信しています。大変切迫した予算でしたが、助成金は被災者の方々に鑑賞の場を提供し、そして被災地への義援金と繋がりました。個人活動の運営資金ではなく、このような形でMARUWA財団の助成金が被災地へもたらされたことをご報告いたします。



(撮影者：大森 有起)

平成25年度 助成事業 募集案内

平成25年度の助成事業の募集がいよいよ始まります。皆さん、奮ってご応募ください。

■助成金

平成25年4月1日～平成26年3月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額300万円を助成します。

■助成対象

芸術活動を続けている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は3回迄とする。

■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。また財団ホームページ <http://www.mwf.or.jp/> からでも入手できます。

■応募受付期間

平成25年1月10日～2月10日必着

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成25年3月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団

〒105-0014 東京都港区芝3-16-13

MARUWA ビル2階

Tel. 03-5419-6513 / Fax. 03-5419-6514

URL <http://www.mwf.or.jp/>

E-mail info@mwf.or.jp

第7回 CAF フラメンコ・コンクール

第7回 CAF フラメンココンクールの入場券が、12月1日よりいよいよ発売となります。詳細は下記のとおりです。チケットご希望の方は当財団までお申し込みください。たくさんの方々のご来場、お待ちしております！

■予選

2013年2月2日(土) 13:30～

2013年2月3日(日) 13:30～

■本選

2013年2月23日(土) 15:00～

■会場

北千住 Theatre1010 (シアターセンジュ)

※予選・本選共に同会場

■入場料

予選/2,000円(全自由席)

本選/3,000円(全指定席)

■チケット取扱・問合せ

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団

Tel. 03-5419-6513 URL <http://www.mwf.or.jp/>

E-mail info@mwf.or.jp

事務局便り

スタジオがオープンして半年、“CASA DEL ARTE”は50名以上の観客が入るソロリサイトルや発表会会場として、また1・2階を同時に使用出来るメリットをフルに活用し、リハーサルスタジオとしてもたくさんの方々にご利用頂いております。また、他にはない雰囲気、の2階サロンは、時にはセミナー

会場としてもご利用頂き、最近では展示スペースとして利用をご希望される嬉しいお声も聴けるようになって参りました。これからは多くの方に、このスタジオを認知して頂けるよう努力していく所存です。

来年2月に開催される第7回 CAF フラメンコ・コンクール、今

回出場者の年齢層は幅広く、フラメンコ界の更なる人材育成という観点からもとても期待しています。

コンクール・チケットは、12月1日より当財団ホームページからお求め頂けるようになっておりますので、是非、皆さん会場に足を運んで、身近で応援してあげてください。(宮下)